



学校だより 号外
 戸市立赤塚中学校
 平成26年 2月26日

学校評価アンケートについて

昨年末の学校評価に関するアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。
 今回は、保護者の皆様からの記述回答の中から、今後の本校教育活動を充実させるための課題となる主なものを取り上げて学校の対応について述べさせていただきます。
 今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

- ① 1学期の中間テストを実施してほしい。また、周囲の学校とテストの時期がズれるのはなぜでしょうか？

→ 来年度は、第1学期・第2学期に中間テスト・期末テスト、第3学期に学年末テストの実施を予定しています。

定期テストは、修学旅行や体育祭等、学校行事との兼ね合いで計画するものですから、他校と共通の期日に実施されるとは限りません。



- ② 今の時代、やはり学力が将来を左右するのは確実です。部活は量より質に感じます。朝練や練習試合等、中身が濃いものにし、時間ばかりで評価することのないようにお願いします。バランスが大事ではと思います。

→ ご指摘のとおり、学力により将来の選択の幅が広がるのは確かです。部活は、量もとり質を大切にしたいと考えています。学力、部活、そして、心の豊かさのバランスのとれた生徒の育成にさらに努めていきます。

- ③ 進路指導や受験対策についての情報が少ない。(生徒にも保護者にも)

→ 進路指導については、3年間を見通して計画的に取り組んでいく必要があります。そこで、今までの本校の進路指導を含めたキャリア教育の実施計画を見直しを行っています。また、2年生の後半から受験対策用のテキストを活用した学習にも取り組ませていきたいと考えています。二者面談、三者面談でも適切な進路情報を提供できるよう努めていきますので、ご不明な点につきましては学級担任等にご相談ください。

- ④ 教職員の受験生に対する勉強への取り組みがなっていないと思う。苦手科目の克服など、プリントではなく、時間外授業などするべきだと思う。

→ 今年度、第3学年では、10月以降、放課後の希望制の補習を行っています。希望する参加者は5~10名程度ですが、よく集中して学習しています。また、朝の始業前と昼休みには、自習室を提供し、教師がついて、学習する機会を提供しています。2学期は15名程度の生徒が集まって、課題に取り組んでいました。数学では、毎日プリント課題を出し、個々に朱を入れて返却する取り組みを継続して、少しずつですが確実に実力を伸ばしています。



また、今年度本校では、全学年が夏休み中の補充学習を実施しました。

さらに、第1、2学年は、定期テスト前に質問教室を設けて、学習への支援をしています。自分から補習を希望しない生徒にも、教師から声を掛けています。今後とも、生

徒の学力向上に向けてさらに個別にも対応していきます。

- ⑤ いじめ全般について(複数記述)

→ いじめ等への対応は、学校でも重要な課題ととらえ、定期的な生活アンケートや週1回の生徒指導担当職員による情報交換等を実施し、早期発見・早期解決に努めています。ご家庭でも気になることがあった時は、遠慮なく早めに学校にご相談ください。最優先に対応していきます。

- ⑥ 朝のあいさつ運動に参加して感じたことですが、自転車通学の子供でヘルメットをかぶっていない子が思いのほか多く、それを見ている先生方がなにも注意をしていなかったことに疑問を感じました。

→ 自転車の交通安全については、従前より本校の大きな課題と認識して、毎日下校時に全職員が下校指導を行っています。ヘルメットをかぶっていない生徒については、地域の方から指摘を受けることもあり、指導を継続しています。ご意見の登校時にヘルメットをかぶっていないのは、正門付近で自転車を降りた際にヘルメットを脱いでいたためと思われますので、自転車置き場まで着用するよう指導したいと思います。



- ⑦ 赤中に対するサイトなどがあるようですが、対応しているのでしょうか？

→ いわゆる「学校裏サイト」については、ネットなどで定期的にチェックしていますが、今のところ情報はありません。もし、情報がありましたら学校にお寄せください。

一方、LINE(ライン)等の書き込みに関するトラブルがしばしば見受けられます。学校では、今のところ携帯やスマホの必要性を認めません。ご家庭でもスマホやインターネット等の使い方について、再度ご確認をお願いします。

- ⑧ アンケートのファイルに個人が確定される番号があるのは、少し疑問です。

→ 本校では、「保護者による学校評価アンケート」を以前から実施していました。しかし、アンケートの回収率は、平成24年度が45%、平成23年度は10%、平成22年度は11%と、とても低いものでした。今年度は、本校のこれまでの「学校評価アンケート」の在り方について、内容も方法も見直し、広く保護者の方々のご意見をいただきたいと考えました。そこで、クリアファイルを個別に用意し、全員回収を目指しました。その結果、90.8%の保護者の皆様からの回答が得られました。クリアファイルの番号と回答内容との照合作業は行っておりません。今後、回収方法についてさらに検討を加えたいと思います。



- ⑨ アンケートの回答をどうして4段階にしたのでしょうか？

→ 以前の本校の「学校評価アンケート」が、学校の取り組みに対する保護者の感想の記述だったものを、今年度から、子供の育ちの姿について、教員・保護者・生徒自身の三者が看取るものに変更しました。各質問への回答は、1 よくあてはまる(そう思う)、2 あてはまる(だいたいそう思う)、3 あまりあてはまらない(あまり思わない)、4 あてはまらない(思わない)としました。

例えば、「お子様は、相手の気持ちを考えて行動できるようになってきた。」と思われる方は、「1」または「2」と答えることになります。そう思わない方は、「3」または「4」と答えることになります。集計結果をより明確にするために4段階としました。